

## 令和元年度（第2回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年6月26日（水） 14時00分～15時20分
  - 2 開催場所 鹿児島川荘 体育室
  - 3 出席委員 松尾委員、山口委員、熊谷委員、田上委員、後藤委員、柳谷委員、宰務委員、鹿多委員、望月委員（9名）
  - 4 欠席委員 林委員、高瀬委員、前川委員、岡本委員、和田委員
  - 5 出席職員 小南教育長、山本教育指導部長、杉本教育指導部次長、神吉教育指導部参事、福島社会教育・スポーツ振興課長、境学校教育課長、今津青少年育成課長、姫路少年自然の家所長、各公民館長（高橋館長、藤原館長、畠中館長、鳥居館長、有原館長、田口館長、竹内館長、福本館長、山脇館長、前田勝宏館長、前田博之館長、木村館長）、社会教育・スポーツ振興課（川上副課長、松本公民館統括担当、尾崎地域家庭教育係長、今井書記）
  - 6 傍聴者 0名
  - 7 議事要旨
- 開会 14時  
委員長あいさつ、教育長あいさつ

### （報告事項）

- 1 公共施設等総合管理計画に基づく再編計画について  
（行政経営課より説明）

#### 委員

学校園を社会教育で活用することは検討しているか。

#### 行政経営課副課長

学校園の今後の方針については、現在、パブリックコメントを行っているところである。学校園は容量が一杯の状況で運営しているので、兼用することは難しいと思う。

#### 委員

施設の再編について、体育施設等不足する施設を新たに作るだけでなく、学校園なども活用し、大きい枠組みで調整するソフト面の取組も必要と考える。

#### 行政経営課副課長

市長部局で所管している体育施設と教育委員会で所管している体育施設があるので、それぞれ連携し、検討していきたいと考える。

#### 委員

施設の統廃合により、廃止となった施設の活用について、検討状況はいかがか。

#### 行政経営課副課長

例えば、学校園については、児童・生徒数が減ったからといって、統廃合するといったような簡単なことではないと考えており、地域の皆様と十分に話をさせていただき、より良い答えを出していきたいと思う。仮に、施設の使用を終えた場合、他の用途での使用や民間への売却などを検討することになる。

#### 委員

施設の長寿命化に向けた検討について、208の施設に対して修繕計画などは整理しているの

か。

行政経営課副課長

修繕経費については、公共施設等総合管理計画において概算で計算している。加古川市が施設の維持管理に使える金額を計算し、そこから逆算した結果に基づき、延べ床面積6%の削減を掲げている。全ての施設について、将来的に維持するか否かを示す「再編計画」を今年度中に作成した上で、個別施設の修繕計画については、令和2年度中に作成予定である。

委員

築年数に応じて、修繕が必要な年数があるため、細かく計算しておくことが大切だと考える。

(協議事項)

1 社会教育施設の運営について

・少年自然の家

(少年自然の家所長より説明)

委員

現在の職員構成はどうか

少年自然の家所長

所長、副所長を含め、全員で16名となる。工作館指導員4名、天体観測指導員2名、医療支援員1名、用務員2名、活動支援員1名、事務員4名が在籍している。

委員

少年自然の家の強みと現在のPR状況について教えてほしい。

少年自然の家所長

イベントのPRとして、市ホームページや広報かこがわ、タウン誌に掲載している。市ホームページは季節ごとに更新をしている。施設の強みとしては、立地条件がよく、自由に活動できる点が挙げられる。また、職員の対応が良くなったという声も聞いている。

委員

市外からの主な利用は、どのような団体か。

少年自然の家所長

明石市の小学校で自然学校として利用されているほか、加古川運動公園陸上競技場や総合体育館でスポーツの大会が開催される時に、県外の団体が宿泊している。また、神戸や明石からボーイスカウト・ガールスカウトがテント泊で利用している。

委員

少年自然の家は、雨天時に避難できる場所が確保されており、雨が降っても活動することができる。設備では、アスレチックコース、登山、ボート、天体観測、工作などとても充実している。また、施設のメンテナンスがされており、他市の団体からも評判がいい。

委員

少年自然の家を利用してほしいターゲットの層は、どの世代か。

少年自然の家所長

小学生をはじめ、親子での体験活動や少年団の活動の場として活用いただきたいと考えている。少年自然の家というフィールドを、活動を企画する指導者の方に、なかなか知っていただけていないということが懸案となっている。

委員

未就学児でも、木の実を拾うなどできることはあるので、そのような事業を企画し、少年自然の家を利用するきっかけづくりに取り組んでほしい。未就学児の保護者は、子どもが大きくなると少年団等の役員になっていくので、未就学児から利用していただくことも大切だと考える。

少年自然の家所長

今後、親子での体験活動に力を入れて取り組んでいきたい。木の実を拾って工作するなど、様々なメニューがあるので、子育てサークルの方が集まる機会があればぜひPRさせてほしい。

委員

子育てサークルリーダー連絡会で施設のPRをお願いできればと考えている。

・公民館

(加古川公民館長より説明)

委員

台風等により自主避難所が開設されたことに伴って、利用者の減少はあったのか。

加古川公民館長

昨年度は、例年より自主避難所の開設回数が多かった。自主避難所になった場合、主催事業が中止になるほか、登録団体の利用も中止になる場合があるので、台風等による利用者の減少は例年に比べて多いと思う。

委員

高齢者学習事業の募集の人数が公民館により差があるが、募集人数を超えた館はあるか。

加古川公民館長

加古川公民館では、各学年50人計200人の定員となっているが、在籍者数は117名となっている。他の館でも募集人数に達していないところが多い。

野口公民館長

昨年度、東加古川公民館では、50人の応募があり、49人が入学された。他の館では、現状、定員の半分くらいの応募となっている。そういったことも鑑み、いなみの学園では、57歳から入学できるように年齢要件を引き下げている。高齢化率が上がってきている中で、応募が少ないため、何らかの改善を図る必要があると考える。

委員

別府公民館や平岡公民館では夏休みの講座を多く実施されているが、どのように広報しているのか。

別府公民館長

広報かこがわに掲載するほか、管内小学校の全児童にチラシを配布している。

平岡公民館長

管内小学校の全児童にチラシを配布している。定員に満たないと思われる場合は、広報かこがわに掲載している。

委員

出張天体観測で小学校の利用があるが、学校かPTAのどちらからの申込か。

少年自然の家所長

P T Aからの申込となっている。

- ・ 青少年女性センター  
(青少年育成課より説明)

委員

「戦闘中&逃走中」について、事業の反響はどうか。

青少年育成課長

テレビ番組を参考にした行事となっている。少年自然の家の広場を使用し、水鉄砲で鬼ごっこをしている。参加者は155人となっており、好評いただいている。

(報告事項)

- 2 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会総会・研修会(6/14)の参加報告について  
(委員より報告)
- 3 社会教育委員協議会の今後の予定について  
(地域家庭教育係長より報告)

(その他)

なし

- 閉会 15時30分  
副委員長あいさつ

以上